

第7回先端繊維技術セミナー(オンライン TEAMS 開催)のご案内

主催：(一社)日本繊維技術士センター

協力：(公社)日本技術士会近畿本部 後援：(公社)日本技術士会繊維部会

1. 開催日時：2026年9月12日(土) 13時30分~16時30分

2. 講演会方式：Teamsによるオンライン講演会(Teamsには13:15からお入り下さい)

3. 演題および講師：

演題1：「防火服をとりまく技術、問題、今後 火災現場から学ぶ防火服の構造開発、評価、設計」

信州大学 繊維学部 機械・ロボット学科 教授 若月 薫 氏

防火服は、高性能繊維を用いた究極の衣服の一つである。その機能性を高めるうえで、繊維単独の性能には限界があり、異種素材の組み合わせや加工、織り・編み・不織布などの構造形成技術を統合することが不可欠となる。すなわち防護服は、単一の素材ではなく一つの衣服「システム」として捉えるべきものであり、人間を中心とした外部および内部からのリスクに対応するには、各分野の専門家を束ねた学際的な研究開発が求められる。こうした開発を支える基盤となるのが科学・工学的知見であり、リスクの背景にある物理現象を理解し、その現象に対応する素材や繊維構造体としての衣服を開発することは、着用者である消防職員の安全を確保するうえで今後ますます重要となる。

演題2：「繊維技術の変遷と将来展望 — 構造設計が拓く機能創出」

東レ株式会社 繊維研究所 研究本部 参事、リサーチフェロー・所長 増田 正人 氏

繊維素材は衣料用途にとどまらず、産業資材、環境・エネルギー、医療分野など幅広い領域で重要な役割を担っている。本講演では、熔融紡糸を中心に合成繊維技術の発展を俯瞰し、その進化の方向性を整理するとともに、当社“ナノデザイン”に代表される微細構造制御技術に着目し、プロセス中のミクロ・マクロにわたる階層構造設計が新たな機能創出につながる原理と実践例を紹介する。さらに、サステナビリティや新領域展開を背景とした繊維技術の将来像を展望する。

4. 参加申し込み：(下表の赤字部分は必須要件ですのでご注意ください)

第7回 先端繊維技術セミナー 参加申込書			
2026年 9月12日(土) 13時30分~16時30分			
申込方法 1又は2にて		1. JTOC ホームページの講演会案内の申込フォームを使用 2. 本用紙の参加申込書に記入し、Eメール宛にお申し込みください。 E-mail : jtoc-kyoho@mbr.nifty.com	
申込期限		2026年 9月3日(木)	
申込者	(フリガナ) 氏名	勤務先	
	連絡先	(住所) ; (受講メールアドレス) ; (受講時に連絡可能な電話・携帯番号) ;	
	所属	(□にシをつけてください) ☐ JTOC正会員、準会員、協力会員 賛助人・団体会員(関係会社含) ☐ 日本技術士会会員 ☐ 会員外	
参加費	受講料 2,728円 消費税(10%) 272円 参加費計 3,000円		受講料 3,637円 消費税(10%) 363円 参加費計 4,000円
	(申込期限までに要振込完了) 参加費振込者に資料送付。 資料請求のみは無し。		
その他	参加費の振込先：三菱UFJ銀行 普通口座 江坂支店 口座番号 1213348 口座名 シャ)ニホンセンイギジユツシセンター *振込手数料：大変恐縮ですが申込者にてご負担いただくようお願い申し上げます。 *申込期限内振込み者には、受講メールアドレス宛に、オンライン講演会の招待メールを送付。 *記載された個人情報、講演会業務上の目的以外には使用致しません。 *講演の映像や音の収録・他への使用、並びに配布資料の無断使用は禁止されています。		
問い合わせ	日本繊維技術士センター(JTOC) 本部(Tel) 06-6484-6506 担当・荻野		